

本報の宗旨は、教育の発展と知識の普及にあり、社会の進歩と国民の啓蒙に努むることを以て、その責務を担ふ。

本報の発行所は、東京市神田區大塚三丁目、電話二二二二番、郵便局掛丁二二二番。

本報の代金は、毎月五円、半年三十円、一年六十円、先払いとする。

本報の印刷所は、東京市神田區大塚三丁目、電話二二二二番。

本報の発行人は、東京市神田區大塚三丁目、電話二二二二番。

本報の社説は、本報の編輯部の責任で、客観的かつ公正な立場から、社会の諸問題を論ずる。

本報の編集方針は、教育の発展と知識の普及にあり、社会の進歩と国民の啓蒙に努むることを以て、その責務を担ふ。

本報の発行所は、東京市神田區大塚三丁目、電話二二二二番、郵便局掛丁二二二番。

本報の代金は、毎月五円、半年三十円、一年六十円、先払いとする。

本報の印刷所は、東京市神田區大塚三丁目、電話二二二二番。

本報の発行人は、東京市神田區大塚三丁目、電話二二二二番。

本報の編集方針は、教育の発展と知識の普及にあり、社会の進歩と国民の啓蒙に努むることを以て、その責務を担ふ。

運管に機動性を、健康管理に萬全期せ

労働者の健康と安全を確保し、生産性を向上させるためには、労働管理に機動性と柔軟性を導入することが不可欠である。特に、労働者の健康状態を定期的にチェックし、必要に応じて作業環境を調整することが重要である。

また、労働者の健康を維持するためには、適切な休息と労働時間の管理も必要である。過度な労働は健康を損ない、長期的には生産性を低下させる可能性がある。

企業側としては、労働者の健康を第一とし、安全な労働環境を提供する責任がある。また、労働者の健康に関する教育やトレーニングを実施し、労働者が自身の健康を管理する能力を高めることも重要である。

結論として、労働管理に機動性を導入し、労働者の健康を万全に管理することは、企業の持続的な発展と労働者の幸福を実現するための重要な課題である。

学徒から勤労働員へ要望

学徒制度は、学生が実践的なスキルを習得し、社会で働く準備をさせるための重要な手段である。しかし、学徒が労働者として扱われ、適切な待遇を受けられないという問題が指摘されている。

学徒は、学生としての権利と義務を併せ持つ存在である。したがって、学徒に対する労働法の適用をめぐって、法的な議論が必要である。

また、学徒が労働者として扱われることで、学費や生活費の負担が増える可能性がある。これは、学徒の生活に大きな影響を与える可能性がある。

結論として、学徒から勤労働員への要望は、学徒の権利を保護し、学徒制度の持続性を確保するための重要な課題である。

勤務即教育の徹底

勤務即教育の徹底は、労働者のスキルアップと生産性の向上に不可欠である。企業側としては、労働者の教育と訓練に積極的に取り組むべきである。

また、労働者側としては、積極的に教育と訓練を受け、自身のスキルを向上させることが重要である。

結論として、勤務即教育の徹底は、労働者と企業双方にとっての利益となる重要な取り組みである。

また、労働者側としては、積極的に教育と訓練を受け、自身のスキルを向上させることが重要である。

学徒總武裝の秋

学徒の総武裝は、学徒の権利を保護し、学徒制度の持続性を確保するための重要な手段である。しかし、学徒の総武裝は、労働法との関係が複雑である。

また、学徒の総武裝は、学徒の生活に大きな影響を与える可能性がある。これは、学徒の生活に大きな影響を与える可能性がある。

結論として、学徒の総武裝は、学徒の権利を保護し、学徒制度の持続性を確保するための重要な課題である。

補助要員は除外

補助要員は、学徒制度から除外されるべきである。補助要員は、学徒としての権利と義務を併せ持つ存在ではない。

また、補助要員は、学徒の生活に大きな影響を与える可能性がある。これは、学徒の生活に大きな影響を与える可能性がある。

結論として、補助要員は、学徒制度から除外されるべき重要な課題である。

勤務の適正配置も考慮

勤務の適正配置は、労働者の健康と安全を確保し、生産性を向上させるための重要な手段である。企業側としては、労働者の勤務配置に積極的に取り組むべきである。

また、労働者側としては、積極的に勤務配置を受け、自身の健康と安全を確保することが重要である。

結論として、勤務の適正配置は、労働者と企業双方にとっての利益となる重要な取り組みである。

岩波文庫 太閤記(下) 藤田鳴鶴著 九月廿二日

精神醫學の黎明 吉野 著 九月廿二日

現代醫學の主要問題 吉野 著 九月廿二日

場所の論理 吉野 著 九月廿二日

新陽太 猶太民族の歴史的足跡 吉野 著 九月廿二日

弘文社 農山村経済の基礎的研究 吉野 著 九月廿二日

東亞考古學論叢第一 吉野 著 九月廿二日

日本書誌學之研究 吉野 著 九月廿二日

異民族の支那統治史 吉野 著 九月廿二日

新刊 日経経済学一般理論 吉野 著 九月廿二日

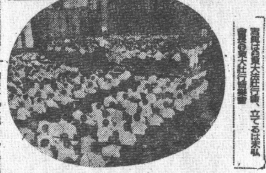
新刊 経済学一般理論 吉野 著 九月廿二日

今日よりは腕の御盾

氣持持ち最後を全念 相繼ぐ出陣學徒壮行會

昭和九年九月一日、東京市立第一高等學校の學徒壯行會が、本校の體育館に於て開かれた。

本校の學徒壯行會は、本校の體育館に於て開かれた。出席者は、本校の教職員、及び各界の賓客、約千名に達した。



壯行會の進行は、校長の訓詞、各界の祝詞、及び學生の演説、等々、盛況を呈した。

同甘其苦を實踐

中國留學生の現勢

留學生の現勢は、最近ますます悪化して來てゐる。...

友愛に生きる

友愛に生きるは、人生の第一義である。...

學徒談話

學徒談話の會は、本校の體育館に於て開かれた。

電波傳播の課題

電波傳播の課題は、現代社會の重要な課題である。

科學精神の獲得

科學精神の獲得は、現代社會の重要な課題である。

いざ來れ敵機

いざ來れ敵機、九六防衛隊の陣地。

長距離で走れ

長距離で走れ、深澤英一氏の講演。

渡き虹

渡き虹、北條誠氏の講演。

小島と書簡

小島と書簡、川口松太郎氏の講演。

刀出日田岸

刀出日田岸、田代百合子氏の講演。

イタリヤ語講座

イタリヤ語講座、九月十四日開催。

診療百科醫典

診療百科醫典、東西醫學社出版。

同盟世界週報

同盟世界週報、八月廿六日発行。

